

オアシス21

【2018】平成30年12月

No. 90

CONTENTS

巻頭特集 ねんりんピック富山で県勢活躍(2~5面)

- シニアカレッジ新潟(旧高齢者大学)特集
 - ・名称一新して初の卒業式
 - ・30周年記念行事予告
- きらっ人インタビュー「洋服リフォーム You,Me.」

福祉にいがた 第796号(14~23面)

- 村上市で県民福祉大会開催
- 新潟市で恒例の福祉・介護・健康フェア開催



旬菜



さんまのカレー風サラダ



作り方

1. さんまは腹骨をそぎ取り、長さを半分に切って、塩、こしょう、小麦粉各少量を順につける。
2. 玉葱は縦薄切り、人参は皮をむいてせん切り、ピーマンはへたと種を除いて斜めせん切りにする。
3. 鍋に湯を沸かし、**A**を入れる。
人参を先に加え、残りの野菜も加えてさっとゆで、ざるに取る。
4. ボウルに合わせ調味料を混ぜる。
5. フライパンに油大匙1と1/2を熱し**1**の両面を焼いて、**4**に入れ、調味料をからめて器に盛る。**4**に**3**を入れて調味料をからめ、さんまの上に盛る。

*材料 2人分

さんま(3枚卸).....2尾
玉葱.....1/2個(100g)
人参.....1/4本(40g)
ピーマン・赤ピーマン各1個

A カレー粉.....小匙1
塩.....少々

【合わせ調味料】

カレー粉.....小匙1
トマトケチャップ.....小匙1と1/2
酢、油.....各大匙1と1/2
塩.....少量
※小麦粉・油・塩・こしょう

さんまは良質のタンパク質や不飽和脂肪酸のほか、ビタミンA、B群も豊富です。今年は値段も手ごろで、いろんなメニューで繰り返し食べられるよう工夫しましょう。カレー風味で青魚特有のにおいを抑え、食べやすく調理してあります。

監修
新潟県栄養士会
川村 美和子



ご意見ご感想お寄せください

「福祉にいがた オアシス21」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら、右記までお寄せください。

◆〒950-8575

新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
新潟県社会福祉協議会企画広報課

◆ファクス 025-281-5528

◆Eメール oasis@fukushiniigata.or.jp

福祉にいがた

オアシス21

第90号 平成30年12月発行

発行・編集 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
制作 株式会社 ジョーメイ

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2-2(新潟ユニゾンプラザ3階) TEL.025(285)1400

〒950-0807 新潟市東区木工新町1193 TEL.025(272)0707

ISSN 0917-8236

富山いずみ高校2年の平野碧唯さんの
プラカードに先導され堂々の入場行進



ねんりんピック 富山2018

新潟県選手団 ～ユキツバキ振り力強く行進～ 今年は卓球が優勝!

シニアの祭典「ねんりんピック富山2018」(第31回全国健康福祉祭とやま大会)が、11月3日の総合開会式を皮切りに6日までの4日間、富山県内15市町村で開催されました。新潟県チームは、昨年の太極拳に続き、今年は卓球チームが優勝の栄誉を手にしました。



弓道チームが掲げる横断幕は富山市の小学生から応援の気持ちを込めて手渡された

今年のスローガンは「夢つなぐ 長寿のががやき 富山から」。27種目のスポーツ・文化の交流大会に全国から約1万人の選手・役員が参加。本県からは関谷政友団長(新潟県社会福祉協議会常務理事・事務局長)をはじめ選手108人が16種目に参加し、年代や地域を超えた交流の花を咲かせました。

富山市の県総合運動公園陸上競技場で行われた総合開会式。爽やかな青空の下、

本県選手団は本間敏選手(ソフトボール)の掲げる県旗を先頭に、富山きときと夢KIDS(富山市立堀川南小学校6年)と一緒に、ユキツバキの花を振って行進。恒例のメインスタンド前のお国自慢では、小林幸英選手(囲碁)が「おいしいお米と地酒が自慢の、お隣の新潟県から参加しました」と選手団を紹介しました。

競技が始まった4日は、曇り空で時折雨が落ちてくる天候でしたが、各会場では気迫のこもった熱戦が繰り広げられました。同時に、対戦相手にチューリップの球根を贈り、交流を深めました。卓球チームは、決勝トーナメントで兵庫県、浜松市、北海道を下し優勝を勝ち取りました。青木正勝監督は「二丸となって戦った結果だ」と喜びを語っていました。

来年は同じく 11月に、和歌山県に舞台を移して行われます。

全力でのプレー誓う 富山大会へ向け結団式



上野敏選手(左)が富山での奮闘を誓う

ねんりんピック富山大会に出場する新潟県選手団の結団式が、総合開会式前日の11月2日、上越市のアートホテル上越で行われ、そろいのユニホームに身を包んだ選手108人が参加しました。

結団式では、選手団団長の県社会福祉協議会・関谷政友常務理事・事務局長が「日ごろの成果を発揮し、記憶に残る素晴らしい大会にしてほしい」と激励。新潟県知事代理の県福祉保健部・藤山育郎部長から、旗手を務める本間敏選手(ソフトボール)に県旗が手渡されました。

選手を代表して、上野敏・ソフトテニス監督が「粘り強く全力でプレーすることを誓います」と力強く決意表明。結団式後、各選手はバスで開催地・富山に向かいました。

選手たちは、県内で行われた「にいがたねんりんピック」で勝ち上がり、富山への切符を手に入れました。

「越中万葉」の世界表現

富山市の県総合運動公園

陸上競技場での総合開会式

では、歌人・大伴家持が富山の自然や人々の営みを詠んだ「越中万葉」に合わせ、美しく豊かな海・川・里・山を、映像や伝統芸能、創作ダンス、集団演武などで表現。エネルギーあふれる総勢1300人のパフォーマンスにスタンドから大きな拍手が送られ、メインナビゲーターの富山市出身で女優・お笑いタレントの柴田理恵さんが式典を盛り上げました。

開会式前には、富山きときと夢KIDSの小学生9人が、本県選手団に応援の横断幕を手渡して激励、互いに質問し合うなど交流を深めました。

⑧メインナビゲーターの柴田理恵さん(左から3番目)と応援団長の高原兄さん(同4番目)、大会マスコットきときと君



- ①きときと夢KIDSとの交歓会。県選手団からお礼にチューリップの球根を手渡す ②新潟県のプラカードガール◎平野碧唯さん(富山いずみ高校2年)と一緒に
③オープニング・アトラクションの勇壮な越中太鼓 ④きときと夢体操。園児らも元気いっぱい ⑤メインアトラクション第1景・富山の神秘的の海を表現
⑥全出演者による躍動感あふれるフィナーレ ⑦きときと夢KIDS代表らが力強く元気とやま宣言



ねんりんピック 富山2018

敢闘の軌跡

ソフト
バレー
ボール

杵柄SSD 2位グループ1位

戦う敵が友達に! 試合では勝ちにこだわっても、試合終了直後からお互いをたたえ合い、親しく語り合える仲間を強く感じ、感動した大会でした。初日の1敗で上位リーグへの進出は逃しましたが、実力を出し切れた充実と、上位チームとの僅差を実感できました。今後は次のチャンスで今大会の1敗を取り返すべく、健康管理と練習を頑張ります。

卓球

新潟県 優勝

初日の宿で深夜の道路工事の騒音に悩まされ先の不安がよぎったものの、2日目以降の金太郎温泉で素晴らしい料理とおもてなしで身も心も癒やされ、プレーに専念できました。選手のチームワークの良さと頑張りで念願の優勝の栄誉を勝ち取ることができました。会場での社会福祉協議会スタッフの皆さんからの応援に心から感謝申し上げます。

ゴルフ

新潟県 団体戦14位

天気恵まれ、立山連峰と日本海が望めるコースでの交流大会でした。ねんりんピックは初めての出場でしたが、3人それぞれ、全国各地の同伴競技者と楽しくプレーすることができました。また機会があれば参加したいと思っています。

テニス

新潟県 4位グループ 決勝トーナメント2回戦敗退

交代要員も含め、全員で試合に臨みました。4位リーグでしたが、試合内容は接戦が多く、充実していました。相手をリスペクトし、気持ちの良い対戦でした。隣接の富山県で、旧知の知人に会えたり、懐かしい観光地に再来できて楽しく、気分の高揚する大会でした。機会があればまた、ねんりんピックに参加したいと全員が希望しています。

ソフト
ボール

三条清流クラブ 予選敗退

目標は生涯スポーツとしてソフトボールの仲間を拡大し、三条清流クラブの伝統と役割を継承し、チームを継続させていくことである。今回は新人2人が体験できた。立山クラブから応援に来てもらったり、群馬の交流がある監督から紹介されてきた方と今後交流を約束し、協力をもらうことになった。結果を踏まえ、新スタッフで再出発する。

ソフト
テニス

新潟トキめき 2位グループ 決勝トーナメント1回戦敗退

目標の予選リーグ1位突破は実現できなかったが、全ペア1勝以上できて良かった。予選リーグの対戦は全て西日本のチームで、あるチームの男性が夜の食事会の席に顔を出され、いろいろな話をできたこと、高岡大仏と土蔵造りの町並みを散策できたことが楽しかった。悔しさをバネに技術のレベルアップを目指したいとの意気込みを聞いてうれしかった。

グラウンド
ゴルフ

新潟県 初出場

施設のすばらしさに皆さんが異口同音に感銘。芝生の状況を読み取れず、なかなかホールインワンが出ずに苦戦。全国レベルの高さに脱帽。他県の方々と和気あいあいとプレーし、交流を深め楽しく過ごしてまいりました。天候にも恵まれ、何のトラブルもなく大成功に終了したことに感謝しております。

マラソン

新潟県 全種目完走

今回はお隣の富山県、5人での参加となりました。残念ながら入賞できませんでしたが、マラソン会場の滑川市の方々の大きな声援を受け全員完走することができました。大会を通して知り合った仲間や地元の人々との交流、親睦を通じて改めて生涯スポーツ、生涯現役の意を強く持った次第です。また県社協事務局、大会関係者の方々には大変お世話になり、感謝申し上げます。

ゲート
ボール

風 予選リーグ敗退1勝2敗

11月の最高の天気恵まれ、高岡市の職員、本大会の役員の皆様方のご努力のおかげで大変楽しいゲートボールの試合ができました。感謝を申し上げたいと思います。またこのような大会があれば是非参加させていただきたいと思いました。成績は残念ながら思うようにはいかず、全国レベルの高さを痛感致しました。今後の課題ができたように思います。

ゲート
ボール

5000 予選リーグ敗退2勝1敗

オリンピックをほうふつさせるような開会式、感動しました。太鼓の音が体に残っています。その余韻を残しながら出場したゲートボールの大会、決勝トーナメントには進めませんでした。惜敗でした。そんな悔しい思いの中、全国のゲートボール仲間と交流できたことは大変貴重な経験です。またチャンスがあれば頂点を目指し、新潟のゲートボールを全国にとどろかせたいと思います。

ゲート
ボール

津南GBF 予選リーグ敗退1勝2敗

本大会は初めから波乱づくめの出場となりました。予選大会にて5位でしたが、3位4位のチームが辞退したために急なチーム編成となり、出場を了承した選手が都合により出場できなくなり・・・人選に大変苦労しました。大会の結果は申し訳ありませんが1勝2敗に終わってしまいましたが、楽しい5日間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

太極拳

チーム天地人 46位(59チーム出場)

前回大会の高知大会より上位を目標に、練習を重ねて来ましたが、とても悔しい結果になりました。でも6人が心をそろえて表演できて良かったです。他県チーム、地元の皆さんの演武や特別演武など素晴らしく楽しい一日となりました。心のこもったおもてなしと越中おわらの唄と踊りに感動しました。また参加の機会があればうれしいです。

弓道

新潟県 予選敗退(18中／40射)

6月に県代表チームを結成し、8月9月10月と月1回全員集合して彌彦神社弓道場で練習。10月には新潟市チームと合同で練習、神社で必勝祈願をして富山大会に臨んだが、日頃の実力を発揮できず、今一步で予選通過できず、残念であった。

新潟県社協、大会スタッフの一生懸命なおもてなしを受け、感謝いたします。

剣道

新潟県 予選リーグ敗退

県内各地から有力選手が参加して臨んだ大会でした。試合内容は接戦ばかりでしたが、結果は予選敗退となりました。不満な点として、先の技よりも後打ちの技を重視する判定が多かったことがあります。結果を残せなかった悔しさがあります。次の選手には試合のための練習を多くして大会に参加されるようおすすめします。

ペタンク

新潟妙高 決勝トーナメント1回戦敗退

富山大会は参加者が多数で、整備されたコート、接遇とても素晴らしかったです。県大会で選手となった3人は、とにかくトーナメント戦を目指して各個人での練習量を多くしようと決めました。予選リーグ戦は順調でしたが、カトラージュ戦は長時間を有しました。決勝トーナメント戦はティールの体力勝負だと思います。敗因は練習量の不足と、3人一致の反省点でした。

水泳

新潟県 初出場

水泳の6人はマスターズ水泳大会に30年以上出場している。当初30～40歳であったメンバーが、今は60歳以上になった。

夕食で、世界マスターズ水泳大会の金メダリストと同席した。話や所作の中に、金メダル以上の人生の輝きがあった。長寿社会の中で、健康と生きがいの大切さを再認識した大会であった。とやま大会万歳!

将棋

トキめきクラブ新潟 個人戦3位

高齢の人が多いはずなのに、若々しい、元気な将棋が指されていて、全国の人たちと交流できたことは一生の宝です。特にマナーのしっかりした人と対局したときの事。自らの残り時間が少ないにも関わらず、私のボタン押し忘れを教えてくれたのです。勝負にこだわる将棋なのに、です。心の交流を楽しんでいる姿に感動です。

囲碁

トキめきクラブ新潟 個人戦2勝2敗

新潟県の囲碁としては最後のねんりんピックに出場でき大変うれしかったです。今回は県大会で2位3位の方が不参加で、孤軍奮闘で大会に臨みました。結果は2勝2敗でやや不満ながら、半分相手を喜ばし、半分は自分が喜び、交流大会としての役目を果たしたものと思っています。これからは健康に留意し、趣味の囲碁を楽しみながら余生を過ごしたいと思います。

熱いまなざしを持ち、前向きに生きるひとにインタビュー。今回は、新発田市で洋服リフォーム店を運営する松永祐己さんです。県外からの依頼や、ちよつと変わったオーダーもあるそうで…。

特殊な依頼にも全力対応。 洋服のお困りごとなら おまかせください。

洋服リフォーム専門店 You, Me. 店長 松永祐己さん

なぜ洋服リフォーム
専門店のお店を？

洋服直しは元々実家の家業でした。今も胎内市で「八幡リフォーム」として経営しています。そこでさまざまな直しの事例を見て学んだことが、今の店の仕事につながっています。

でも、最初からこの仕事をしようとは思っていませんでした。高校生のときに病気をしてしまい、卒業後の進学が叶わなかったんです。それで療養しながら10年ほど家業を手伝いました。最初はまったくの素人。事例を一つひとつ見ながら、自分なりに勉強しましたね。



実家の仕事は百貨店からの依頼が中心でしたが、時代の流れとともに個人のお客様が徐々に増えていきました。そこで家

内との結婚を機に、より人口の多い新発田市に個人客向けの店を開くことにしました。それが2014年のことです。

プロフィール

1984年生まれ、胎内市出身。高校を卒業後、実家の洋服直し業を手伝う。東京の百貨店や個人客から依頼される洋服のサイズ直しなどを10年ほど経験し、幅広いソウハウを蓄積。結婚を機に、妻の綾佳さんの地元である新発田市に「洋服リフォーム専門店 You, Me.」を2014年にオープンする。



妻の綾佳さんは、手織りのカラフルな生地で一点ものの服や小物を製作。店内で販売しています（下画像）



「洋服直しの駆け込み寺」として、オーダーはできるだけ断らない。何か手を考える。

実家での経験を生かして
独立したのでですね。

そうですね。いろいろな事例を見たことは勉強になりました。

例えばズボンの丈直し一つにしても、細いシルエットのズボンなら少し短めの丈、太めのものなら長めの丈が、ファッションとしては格好がいいんです。そうしたファッションの法則を踏まえながら、お客様の好みや用途をお聞きして、その方に合わせたお直しをご提案します。

もちろん、破れた生地や縫製やファスナー交換なども承っていますし、ウエストのサイズ直しなどの依頼も多くいただきます。ほかに、衿を取ってノーカラージャケットにしたり、袖

を取ってベストにしたり、着なくなった着物をワンピースやバッグに仕立て直したり。形そのものを変えるリメイクも、当店の得意分野ですね。

ご自分の店を開いて5年目。苦労はありましたか？

苦労ばかりです、なんて(笑)。この仕事でいただくお金は技術料なので、値付けで悩むことはありますね。出来上がったものを見ると簡単そうなのですが、そこに至るには、ここをバラして、ここを組み替えて、と複雑な工程が必要なこともあります。縫製が難しい特殊素材もありますが、そので、価格に納得していただけるよう、きちんと説明することとが大切だと思っています。

これまでに、変わった依頼はありましたか？

一番驚いたのは、「熊の毛皮をズボンのおしり部分に縫い付けてほしい」というオーダー。写真撮るのが好きな方で、雪の上に座ってもいいようにこのことでした。熊皮はものすごく硬くて大変でした。

ミンクの毛皮のコートを小さくしてほしいという方もいらつしゃいました。ミンクの毛皮はデリケートな上、パッチワークのように何枚もつなぎ合わせて作られているので、ミシンが使えず全て手作業でした。

特殊素材では、スキューエアやダウンジャケットの直し依頼もいただきます。スキューエアは全国でも扱えるお店が少なく、県外からもお問い合わせがありますね。

バイクが好きで人から「革ジャンのファスナーが壊れたので直してほしい」とか、体育祭シーズンには「洋裁が苦手なので代わりに衣装を作してほしい」という依頼も。既成の服を介護用に直すこともありますし、本当にいろいろです。

熊の毛皮から介護服まで！

介護服はいつ頃から製作していましたか？

介護服のご依頼は、実家にいた頃からありました。高齢で介護が必要な方や、障害があつて手や足が動かない方でも、着やすく脱ぎやすい服を、お客様と相談しながら作ります。持ち込みの生地で一から作ることも、普通の服をボタンからファスナーに付け替えるなどして脱ぎ着を簡単にすることもできます。体に不具合があつても着やすく、おしゃれを楽しみたい人に線を引かない。そんな「ユニバーサルファッション」の考え方を大切にしています。

採寸や打ち合わせは、ご来店が難しい場合は新発田市内でしただけ自宅や病院にうかがつても可能です。

さまざまな依頼に技術と工夫で応えているのです。

依頼内容が特殊ですと、他店で断られてしまつてここに来るお客様も少なくありません。私たちではできるだけ断らず、何か手を考える。できることは最



洋服リフォーム専門店You, Me.
新発田市新富町1-6-7 ☎0254-23-5201
平日9:00~19:00、日曜・祝日9:00~17:00
(12~3月末の冬期間は平日9:30~18:00、日曜・祝日9:30~17:00)
火曜
<https://wearreform-youme.com>



持ち込みの生地で作したオーダーメイドの介護服(製作費 7,776 円)。股と背中に特注のロングファスナーを取り付け、楽に脱ぎ着できるようにしています

健康寿命への関心がますます高まる中、
近頃増えているのが、運動に重点を置いた
半日型デイサービスです。新潟市内に3店舗を展開する
「フィットネスデイaigo」さんを訪ねました。

Q 運動に特化したデイサービスって どんなところ？

A 体操やヨガなどの運動を中心に
行うデイサービスのことです。お
風呂や食事のお手伝いをするデイ
サービスとは少し違い、2～4時間
ほどの短時間のサービスを提供し
ている施設が多いようです。



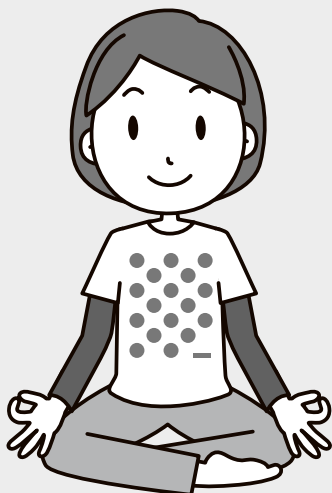
私たちの施設には、「介護や寝たきりにならずに自立
した生活をしたい」という方や、健康への意識が高いお
客様が多くいらっしゃいます。一般的な1日型デイサー
ビスと組み合わせてご利用いただくことも可能です。介
護保険適用のデイサービスですので、ご利用にあたって
は要介護(要支援)認定が必要となります。

Q どんな運動をするの？

A 当施設の運動には「メディテーションストレッチ」や
「フィジカルトレーニング」があります。「メディテーショ
ン」とは瞑想のことで、腹式呼吸を取り入れたヨガにより、
こわばった筋肉や関節をゆったりとほぐします。ストレス
に負けない心を作る「マインドフルネス」の効果も期待
でき、身体と心の両面に働きかけます。

フィジカルトレーニング
では、椅子やボールを使った
さまざまな運動により、手や
腕、脚の機能、バランス、筋
力の維持・向上を図ります。

どちらの運動も特別な機
械は使いませんので、やり
方を覚えればご自宅でも実
践していただけますよ。



「メディテーションストレッチ」
の運動のひとつ。➡

もっと知りたい健康のこと!

けんこう 探偵団

運動で介護予防

フィットネスデイaigo
新潟県庁前店
大橋泰広 施設長



教えて
くれたのは
こちらの方

フィットネスデイaigo
新潟県庁前店
〒951-8501 新潟市中央区出来島2-8-25
☎ 025-288-5450
新潟青山店
〒951-8501 新潟市西区青山8-2-32
☎ 025-201-8900
新潟駅南店
〒951-8501 新潟市中央区弁天橋通1-31-10
☎ 025-250-7433

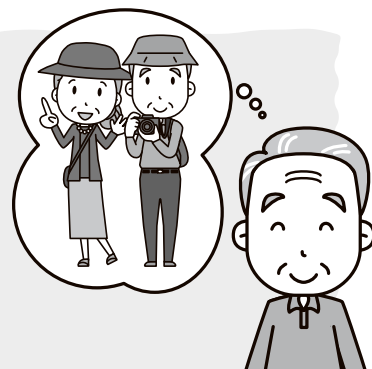


新潟県庁前店



Q あまり運動に慣れていないけど大丈夫？

A お一人おひとりの身体の状態に合わせて、職員が丁寧にサポートします。私たちの施設では、まずご利用お客様の「こうなりたい」という目標を設定していただき、一緒に目標達成を目指します。近くのお店に歩いて買い物に行けるようになりたい、夫婦でまた旅行に行きたい…など。具体的な目標を決めることで、やる気もアップしますよね。



Q 体操でどんな効果があるの？

A 当施設のご利用者様の話になりますが、1年ほど通っていただいている90代の女性は、ヨガを続けるうちに足のしびれが改善し、杖なしで安定して歩けようになったと喜んでいらっしゃいました。90代とは思えないくらい、とても姿勢がいいんですよ。看護師が付き添って行うマンツーマンの機能訓練では、踏み台を使って浴槽をまたぐ練習に励み、足もしっかりと上がるようになりました。

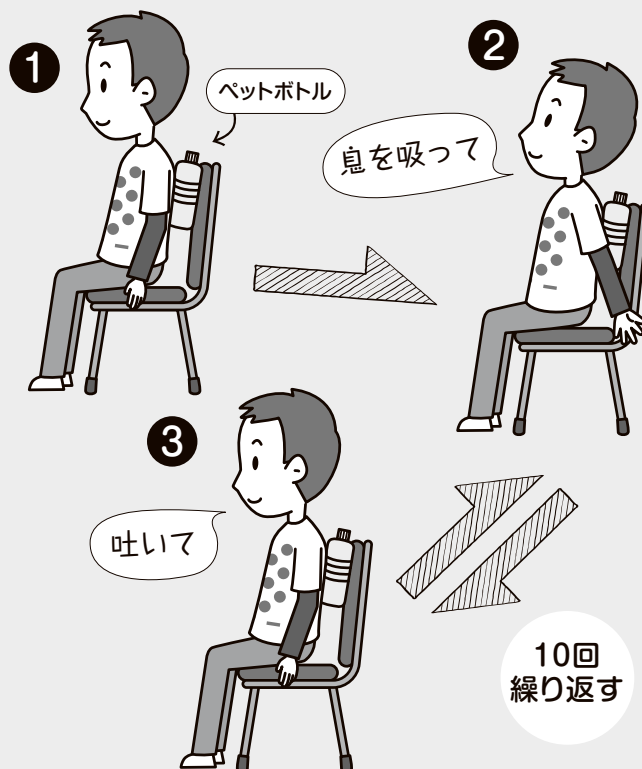
運動は、無理なく正しく続けることが大切です。運動を習慣にすることで、生活にメリハリも生まれますよ。



Q 自宅で簡単にできる体操はありますか？

A 姿勢の改善に役立つケアをご紹介します。重力を利用して、胸や肩甲骨周りを気持ちよくほぐします。テレビを見ながらでもできますので、お試しください。
※痛みがある場合は無理をしないでください。

① 1.5リットルのペットボトルを用意します（タオルを丸めたものでも可）。椅子に浅く座り、ペットボトルを縦にして肩甲骨と肩甲骨の間に挟みます。両手は自然に垂らし、ペットボトルに身をまかせるイメージで寄りかかりましょう。



② 息を吸いながらゆっくり両手を広げ、胸を開きます。

③ 息を吐きながらゆっくり両手を元の位置に戻します。これを10回繰り返します。

10回
繰り返す

新たな旅立ちにエール

県内3会場で30年度卒業式



石上学長から、卒業生一人一人に修了証書(新潟会場)

シニアカレッジ新潟(石上和男学長の平成30年度卒業式が、上越(10月23日・高陽荘)、長岡(同24日・アトリウム長岡)、新潟(同29日・新潟ユニゾンプラザ)の3会場で行われ、合わせて昨年より4人多い126人の卒業生が新たな一歩を踏み出しました。

本年度は、創設30周年を機

に、新潟県高齢者大学から名称を一新して迎えた初めての卒業式です。

卒業生は、各会場で2年間の基礎・応用課程を終えた人たちで、生涯学習への熱い思いを持ち、勉学に励み、仲間との絆を培ってきました。学んだことを生かし、地域社会のリーダーとして活躍することが期

待されます。

新潟での卒業式。式に先立ち、石上学長が卒業生と1年生合同の最終講義を行いました。自ら行っているロシア・ハバロフスク極東医科大学との学術交流などを例に、今夏の交流の様子を写真で紹介しながら「世界をもっと知ることが大事だ」と強調。また、加齢とともに心身の活力が低下するなどの状態を意味する「フレイル」と、その多面性(社会的・身体的・精神的)に応じた総合的対策について解説、健康寿命をいかに伸ばすか考えてほしいと話しました。

式では、主催者の関谷政友・



石上学長による最終講義(新潟会場)

新潟県社会福祉協議会常務理事が、「新たな学びの扉を開いたことと思う。地域の員として活躍することを祈念するとともに、仲間との交流を大事に豊かな人生を送ってほしい」と激励しました。修了証書を一人一人に手渡した石上学長は「地域での頑張りに期待する」とはなむけの言葉を贈りました。

25年度卒業の同窓生は、卒業後の自らの活動を紹介するとともに、「今後の活動を十二分に楽しんで」とエールを送りました。併せて、同窓会企画員が計画を立て、毎年実施している研修旅行を紹介、同窓会事業への参加を呼びかけました。

今年の研修旅行は10月半ばに行われ、上越市の中部電力上越火力発電所建屋内見学をはじめ、全面リニューアルしたばかりの上越市立水族博物館でイルカショーを楽しみ、糸魚川市のフォッサマグナミュージアムでは日本列島誕生の息吹を体感しました。



長岡会場での卒業式



上越会場での卒業式

充実した1、2年次講義

1年次

わたしたちはどのような時代に生きているのか…市民社会の日米比較



日米を比較しながら今を語る越智氏の講義

講義の直前にアメリカ合衆国から帰国した、新潟国際情報大学・国際学部国際文化学科教授の越智敏夫さんが講師です。

帰国したばかりだけに、まさに今のアメリカの政治状況や社会状況、大学の様子などを滞在中の写真や話題を交えて話しました。

2年次

話してみよう、私の地域活動／ボランティア実践者との交流



上越会場での実践者発表

地域活動の楽しみ方とは、また自身に合った地域活動・市民活動・ボランティア活動は何だろう、そして何がやりたいのかを考え、見つけるための講義です。

新潟会場は「にいがた子育てステーション」と「おもちゃ病院」など9団体、長岡会場が「特定非営利活動法人UNE」と「三条雲蝶会」など6団体、

上越会場は「青田川を愛する会」「読み語り ジャックの会」など5団体がそれぞれ日ごろの活動ややりがい、懸ける思いを話し、受講生らと意見交換しました。

2年次

成年後見制度と日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が十分でない方や生活に不安がある方に対する支援制度を学び考える講義で、講師は新潟県社会福祉士会・権利擁護センターばあとなあ新潟運営委員の渡邊豊さんです。

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすための権利擁護の制度の概要や利用例、その事業の担い手などの現状と課題について分かりやすく解説しました。



シニアカレッジ新潟30周年記念

公開講演会

■期日 平成30年12月19日(水)

■時間 13:00～16:30

■会場 新潟ユニゾンプラザ・ホール

【主な内容】

①オープニングセレモニー

③卒業生活動事例発表

②主催者・学長あいさつ

④鎌田實氏による記念講演及びサイン会

■入場無料 どなたでも参加できます。(事前に申し込みください)



鎌田實氏

シニアカレッジ新潟(事務局・新潟県社会福祉協議会)は設立30周年を記念し、ベストセラー「がんばらない」の著者であり、医師である鎌田實氏を招き公開講演会を開催します。多くの県民の皆さんのお越しをお待ちしています。

シニアカレッジ新潟(旧新潟県高齢者大学)は、シニア世代へ学習の機会を提供し、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的として平

成年年に設立され、今年30周年を迎えました。

これを記念して、現在、同窓会事業企画会議のメンバー(シニアカレッジ新潟卒業生)が、当日の講演会をはじめ、卒業生や在校生、また県民の方々が楽しめるイベントの開催を計画しています。

[申し込み・問い合わせ]

新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 石川、目崎

☎025-285-1400

今年も好評の実践講座

施設の実情を学ぶ

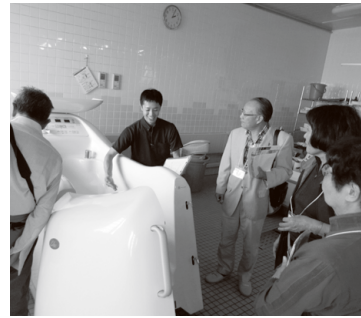
【福祉施設見学・体験】

福祉施設を見学し、利用者の観点だけではなく、地域の一人として、施設とどのように関わりを持つことができるか考える4日間のコースです。

1日目は、特別養護老人ホーム「さわたりの郷」医療課課長・村川英伸さんが、同ホームの紹介しながら、老人ホームや介護施設の特色や現状を解説、入所の判断基準や手続きの方法などについて説明しました。



介護・福祉施設について学ぶ



「花見の里」を見学

続く2、3日目は、新潟市内の新潟南福祉会の特別養護老人ホーム「花見の里」、デイサービスセンター、小規模多機能型居宅事業所と、新潟市社会事業協会の児童センターを含む「有明福祉タウン」を見学。4日目は新潟NPO協会理事の高橋和枝さんを講師にまよめのワークショップを行いました。

受講生からは、「小規模多機能型居宅介護を初めて知った」「有意義な見学だった」「このようなタウン的に各種施設が集中していると地域交流活動がやりやすいのではないかな」などの声が寄せられました。

良寛の心に触れる

【地域再発見良寛の里】

3年目の人気講座。野積良寛研究所長の本間明さんを講師に、天候にも恵まれ、4回の良寛ゆかりの地巡りを楽しみました。

コースは1年目と同じく、出雲崎町からスタートです。妻入会館や光照寺、芭蕉園などを回り、生い立ちや人となりに触れました。

2日目は、燕市分水の長年暮らした五合庵などを見学。托鉢で生活の糧を得ながら、子どもたちを慈しみ、詩歌な



20数年生活した五合庵を見学

ど芸術性の円熟期を迎えた場所です。国上寺や乙子神社草庵、月見坂など起伏のあるコースでしたが、本覚院では住職のユーモアあふれる話で癒やされました。

3日目は父が生まれ、弟が世をはばかりながら暮らした長岡市の与板地区。新木家跡や由之隠栖遺跡、いしづみの里を巡りました。

4日目は晩年を送り、貞心尼との師弟愛を育んだ長岡市和島。良寛の里美術館で



与板地区で本間さんから歌碑の説明を聞く

良寛の書などを鑑賞、はちすば通りを歩き、良寛の墓がある隆泉寺などを見て回りました。本間さんから、良寛と貞心尼の交流についての講義も行われました。



良寛の里美術館で館長から説明を聞く



良寛の墓所



本間さんのまよめの講義

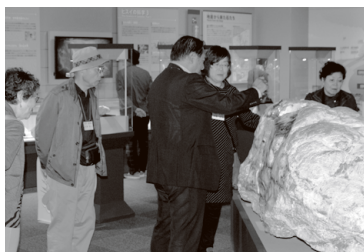
日本列島誕生の鼓動体感、イルカショー楽しむ

恒例のシニアカレッジ新潟同窓会研修旅行が、10月11、12の両日に行われました。今年
の行き先は上越市と糸魚川市。曇り空の下、参加の同窓生41人はフォッサマグナ（糸魚川―静岡構造線）について学び、水族館でイルカショーを見学するなど、盛りだくさんなバスの旅を楽しみました。

初日は、平成26年5月に総合



参加者全員で、はいポーズ(中部電力上越火力発電所)



巨大なヒスイの原石。世界最古と言われるヒスイ文化が糸魚川で花開いた証し(フォッサマグナミュージアム)

運転を開始した上越市八千浦の中部電力上越火力発電所を訪問しました。総出力238万kWを誇り、長野県の電力需要ピーク時の7割を賄える能力があるそうです。燃料はLNG（液化天然ガス）を使用、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせて効率よく発電する「多軸式コンバインドサイクル発電方式」を採用しているとのこと。係員の説明を聞いた後、中央制御室や稼働するタービン建屋内を見学、タービンの大きさに驚いていました。

続いて、今年7月に歴史博物館として再生された上越市歴史博物館を見学。「越後都」



日本海をバックに躍動感いっぱい
のイルカショー(上越市立水族博物館)

として栄えた時代から現代までの上越市の暮らしと息吹を感じ取っていました。

この日の宿泊は、上越市三和地区のネイチャーリングホテル米本陣。懇親・交流会では、ワンコインプレゼント(500円程度)を交換するなど、にぎやかで楽しい時間を過ごしました。

2日目はまず、世界ジオパークのまち糸魚川市でフォッサマグナミュージアムへ。日本最大のヒスイの産地を示す4・6トンの原石や日本列島の誕生の鼓動を感じる展示品の数々を見て回り、シアターでは日本列島やフォッサマグナの成り立ちを大型画面で体感していました。



「気楽に楽しく参加できる同窓会」にするにはどうするか、グループごとに真剣に論議(上越市民プラザ)

彫刻家・澤田政廣の仏像作品を収め、美しい庭園が評判の玉翠園・谷村美術館を鑑賞した後、今年6月にリニューアルオープンした上越市立水族博物館「うみがたり」を見学。マゼランペンギンや県内初のシロイルカの愛らしいに触れ、2頭のイルカによるダイナミックなショーを楽しみました。



見上げる大水槽の魚群に感動(上越市立水族博物館)

お店や会社の情報を リーズナブルに発信できる!

MY PLACE ♪ MY PLEASURE

まいぷれ

にいがた

URL : <https://niigata.mypl.net/>

月額 **7,000** 円~

お問い合わせ・お申し込み

まいぷれにいがた編集部

住所:〒950-0807 新潟市東区木工新町1193 TEL:025(273)3993 FAX:025(272)0717

村上市で県民福祉大会 地域共生社会の創造目指して

老人福祉法施行55周年記念「第68回新潟県民福祉大会」(新潟県・県社会福祉協議会・県共同募金会・村上市・村上市社会福祉協議会主催)が、10月30、31の両日、村上市の市民ふれあいセンターと市総合文化会館で開

催されました。大会は、「共に生き共につくる福祉社会を目指して」をスローガンに、県内の福祉関係者ら約1千人が参加しました。

近年、少子高齢化や核家族化など、社会福祉を取り巻く環境が急速に変化、家族や地域の支え合いが希薄化しています。こうした中、社会福祉法人改革などにより、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が住み慣れた地域で、生きがいを持つて暮らせる地域共生社会の実現が求められています。



竹内・県社協会長のあいさつで式典が開会

大会は、こうした情勢を踏まえて開催。31日に村上市民ふれあいセンターで行われた式典と記念講演では、

大会会長の竹内希六・新潟県社会福祉協議会会長が「地域共生社会実現に向けた基盤構築や権利擁護事業の推進などを制度や分野の垣根を超えて取り組みたい」とあいさつ、福祉に尽力した方々の表彰が行われました。今年には県知事、県社協会長、県共同募金会長の3つの表彰合わせて182の個人・団体が顕彰されました。

式典の後は、元NHKアナ



取材経験などを基に分かりやすく語り掛ける村田氏



竹内会長から県社協会長表彰を受ける
新潟県民共済生活協同組合・西村理事長(右)

ウンサーで福祉ジャーナリストの村田幸子さんが「ひとりで生きる、みんなで活きる」と題して記念講演。村田さんは「高齢期は所得や健康、知人などを失う喪失の時期とも言われるが、嘆くことはない。老いの花をいかに咲かせるか、その機会を持つことが大事だ」と呼びかけ、「社会や人とのつながりがある暮らしが大切で、地域社会を支えるプロの住民が多く生

まれれば、地域も元気になる」と強調しました。

式典に先立ち、30日には2つの会場で、それぞれ研究集会が開かれました。

第1研究集会は「高齢者の居場所づくりを考える」いつまでも元気に地域で暮らすため」がテーマです。日本在宅ケアアライアンス事務局次長の志藤洋子さんをコーディネーターに、3人のパネリストが実践報告し、高齢者が住み慣れた地域で支え合い、健康で自分らしい暮らしができるよう、自由に交流できる「居場所」づくり促進の方策について話し合いました。

第2研究集会は「子どもを見守り育む地域づくり」をテーマに、子どもや子育て家庭が孤立することがないような、子どもたちを見守り育む地域の役割について論議しました。新潟中央短期大学学長の石本勝見さんをコーディネーターに、3人のパネリストが実践報告しました。(研究集会詳細は15、16ページに掲載)

高齢者の居場所づくりを考える

～いつまでも元気に地域で暮らすために～

高齢者の多様なニーズや生活実態を踏まえたそれぞれの地域での支え合い活動を意欲的に取り組む実践者からの報告を基に、より一層の推進が図られるための方策について討議を行った。

1. 村上市社会福祉協議会

- 地域の茶の間は、平成20年度から既存の茶の間の継続・充実および新規の立ち上げ支援として事業化し、運営費助成やマニュアル作成などを行い大きな広がりを見せている。
- 今後も地域の茶の間が地域の大切な社会資源として重要な役割を担えるよう取り組んでいきたい。

2. 高根コミュニティラボわあら 高根いっぷくどころ

- 市からの委託により地元の若者や学生、企業などとの協働で改修した空き家を活動拠点として、さまざまなプログラムを交え月4回開催している。
- 運営は、ボランティアや老人会などの協力を得て行っており、お互い様の気持ちで助け合うことで、たくさんの笑顔が生まれる場所になっている。

3. 松原町あったか茶の間

- 茶の間開設にとどまらず、町内の美化活動や自主防災組織の結成、児童文庫の開設などを通して「共に支え合い、助け合う町づくり」を実践している。
- これらの取り組みは「自分たちの町は自分たちでつくる」ことを念頭に強いリーダーシップの下、財源が無い場合は知恵を絞り進めるなどの工夫が必要である。

総括

- 長命社会となった現代において、私たちは自分の人生のしまい方を考えなければならない時代になっている。
- 従来の医療は病気の治癒や生命維持に重点が置かれてきたが、今は天寿を全うする時代(長寿社会)であり、誰かの役に立つことでの生きがい(他者との関わり)が人生の張りや介護予防となることから、地域での人間関係をどう作っていくのかが、とても大切になる。



第1
研究集会



コーディネーターの志藤氏



シンポジスト。左から佐藤氏、遠山氏、齋藤氏

研究集会コーディネーター・シンポジスト

第1研究集会

コーディネーター

・日本在宅ケアアライアンス 事務局次長 志藤洋子氏

シンポジスト

- ・村上市社会福祉協議会 地域福祉課団体支援係長 佐藤富喜子氏
- ・高根コミュニティラボわあら 高根いっぷくどころスタッフ 遠山美子氏
- ・松原町あったか茶の間 運営委員 齋藤徳明氏

第2研究集会

コーディネーター

・新潟中央大学学長 臨床心理士 石本勝見氏

シンポジスト

- ・村上市山北地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 佐藤貞栄氏
- ・村上市福祉課 家庭児童相談室副参事 中山晴剛氏
- ・にいがた子育て応援団 トキっ子くらぶ代表 今井進太郎氏

【第2研究集会】

子どもを見守り育む地域づくり

少子高齢化が進展し人間関係の希薄化や子どもを見守り・育てる力が低下しているなかで、子どもや子育て家庭が孤立することがないよう、地域ぐるみの子育て支援が強く求められている。

本研究集会では、子どもたちや子育て支援を支える実践者からの発表を下に、全ての子どもたちが、将来への夢と希望を抱き、いつも笑顔で健やかに育つことを目指し、子どもたちを見守り・育む地域のあり方や方策について、熱心な協議がなされた。

1. 主任児童委員活動と子どもを育む地域の力「郷育会議」の実践

○主任児童委員として、誠意と守秘義務を持って、援助を必要とする多種多様な子どもの家庭や地域の子どもたちと関わり、学校や地域の関係機関等と繋ぎながら、見守りを続けてきた。

また、地域担当の民生委員・児童委員との情報共有を図るとともに、学校や地域の関係機関等と連携し、「お釈迦様の手―ぬかるんだ荷車をそっと押し上げる」を基本姿勢として、家庭や子どもに寄り添いながら活動を行ってきた。

○村上市山北地区において、「地域の子どもは、地域で育てる」という理念の下、子どもたちと地域を繋ぎ、「地域に誇りを持ち、語れる子どもたち」を目指して、「スクール あいネット さんぽく」（「郷育会議」）を推進し活動している。

「郷育会議」は、地元の生産物等の様々な体験や集落等の行事への参加を通して、地域の様々な関係者が連携、協力し、子どもたちに伝統等を受け継ぎながら、地域の中で子どもたちを見守り、育んでいこうとする取組である。

2. 村上市要保護児童対策地域協議会について

○要保護児童対策協議会（要対協）は、児童福祉法に基づき、学校、幼稚園、保育所、警察、民生委員・児童委員などを構成員とした「子どもを守る児童虐待防止ネットワーク」である。

要対協では要保護児童や支援対象児童、特定妊婦に関する情報を関係機関等と共有し、協議するとともに、それぞれに対する適切な支援に関する協議を行っている。

○要対協に限らず、地域の住民等が子育て家庭の異変に気づき、民生委員や保健師等の地域の関係者へ繋がり、虐待の防止に結びつくケースがあるなど、効果を上げている。また、要対協を中心とした地域の関係者が繋がることにより、地域の自己治癒力を高める効果になっている。

3. 地域全体で子育てを支援～にいがた子育て応援団―トキっ子くらぶ―

○2006年頃から社会的な課題として、子育て支援が叫ばれてはいたが、子育て支援＝行政・NPO・ボラン



シンポジスト。左から佐藤氏、中山氏、今井氏

ティアのイメージが強く、子育てをどのように支えていくのかが不明確な状況であった。そこで、民間企業を含め、地域全体で子育て家庭を支援していく仕組みづくりが必要ではないかとの思いから、2007年4月に「トキっ子くらぶ」をスタートさせた。

○当初は、子育て家庭への経済的な優待の支援から始まっているが、協賛店の店員等とのコミュニケーションを通して、身近な相談相手と共感し合い、地域が子育て家庭に寄り添う風土づくりへと繋がってきている。

○子どもを見守り育む活動や子育て支援活動は至るところで展開されているが、「トキっ子くらぶ」がメディアとなり情報を発信することにより、子育て家庭が様々な人と接点を持つ場を提供し、県民・民間企業・行政・NPO・ボランティア等、すべての関係者が連携し合い、発信し合い、子どもや子育て家庭が孤立することのないような地域にすることを目指している。

総括

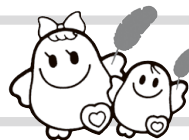
○大人の役割は、これまで生きてきた人生の中で、地域の様々な行事や地場産業等の体験活動を通して、自分たちが大切にしてきたことを子どもたちに伝え、バトンタッチしていくことが重要であるとされている。子どもたちは、そのバトンを受け取り、大人との活動を通して、子ども自身が主体的に地域で生きるための力を身に付けていくこととなる。

我々大人の最も大きな課題は、次の世代を担う子どもたちが育ちやすい環境をいかにして創り上げて行くかではないか。

○子どもや子育て家庭を見守り、支援する関係者の連携する仕組みが充分機能すれば、昨今のような痛ましい事件は減ってくると思われる。そのためにも、児童相談所等の特定の機関だけに頼るのではなく、自らが自分たちの地域、所属する組織や体制の中で重要となる点をしっかりと確認し、いかに協力・協働、連携、繋げていくかが重要であると思われる。



コーディネーターの石本氏



赤い羽根 情報

歳末たすけあい運動・NHK
歳末たすけあい始まる

12月1日から31日まで、歳末たすけあい運動が「つながりささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに始まりました。

この募金は地域の高齢者世帯へのおせち配食サービスや、年末年始の家事援助、障害者施設でのクリスマス事業などに活用されます。

また、NHK歳末たすけあい募金についても12月1日から25日までNHK新潟放送局と県内金融機関の窓口などで募金を受け付けています。皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

イベント募金とポロシャツで
募金活動を
佐渡市共同募金委員会

当委員会では、佐渡島内の様々なイベント会場で募金活動を行っています。佐渡市社

「福祉にいがた」コーナーは、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。



▲共募ポロシャツを着用して募金活動
社会福祉大会での募金活動▶



会福祉大会では、市内の障がい者事業所による共同募金コラボ商品の販売や、ガチャガチャを使用した募金活動を実施し、市民の皆様から多くのご協力をいただきました。

また、共同募金を少しでも身近に感じてもらえるよう、関係者向けに共同募金のキャラクターをプリントしたポロシャツを販売し、売り上げの一部を募金しています。今後希望に合わせて、販売先を広げていきたいと考えています。

ご協力いただきました
きました皆様
に改めてお礼
申し上げます。

自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業所様が所有・使用する

自動車の自動車共済掛金に **10%割引**

を適用します。

ご加入中の自動車保険の無事故等級も

そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



にいがた 県共済

新潟県火災共済協同組合(協) 新潟県支部

火災共済

生命共済

自動車共済

〒951-8133

新潟市中央区川岸町 1-47-1 新潟県中小企業会館内

TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255

URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

<引受共済：関東自動車共済協同組合> 平成 30 年 9 月作成 No.1809107

平成30年度上半期の相談状況

新潟県高齢者総合相談センターでは、高齢者やその家族が抱えるいろいろな心配ごとや悩みごとを、電話や来所でお受けしています。

平成30年度は9月末までに、相談者数832人、延べ1,113件の相談が寄せられました。

相談者の内訳は80%が女性、20%が男性となっており、相談方法では電話によるものが91%と圧倒的に多くなっています。

相談内容の分類と件数は下表のとおりです。最も多いのは「家族・家庭」に関するもので、全体の41%、次いで「経済・生活」に関するものが26%、「法律」に関するものが18%となっています。

「家族・家庭」に関する相談では、同居している家族との関係における悩みや、夫婦やきょうだい間での困りごと、離れて暮らす親の生活についてなどの相談が寄せられています。またその他にも、独り身となった今後の生き方や、自身あるいは親の死に備えてしておくべきことなど、さまざまな不安や悩みをお聞きし、気持ちの整理のお手伝いや助言等を行っています。

また、本センターでは必要に応じて、弁護士による法律相談(毎週月曜日・要予約)も実施しています。心配ごとや悩みごとをお一人で抱え込まず、気軽に相談してください。

相談分類別(1,113件)

保健・医療 (38件)						生き がい	福祉サービス (107件)				経済・生活 (289件)						法 律 (202件)						家族・家庭 (456件)							
その他	自殺	医療関係機関	認知症	医療	精神衛生	趣味・余暇活動	その他	施設・機関・窓口	福祉用具・住宅改修	介護認定・サービス	その他	仕事	住宅・設備	土地・不動産	税金	年金・保険・手当	生計(生活費)	その他	人権	虐待(高齢・障害)	金銭・サラ金	借地・借家	成年後見	相続・財産	家庭・離婚・扶養	その他	近所・地域	夫婦	家族	人生(単身)
9	5	3	3	7	11	21	31	40	1	35	199	22	10	24	3	9	22	46	8	1	35	12	22	63	15	92	63	45	225	31

(単位:件)

高齢者やその家族のみなさん! 日常生活の心配ごと・悩みごと

お気軽にご相談ください

新潟(025)
相談電話は **285-4165**
ヨ イ ロ ウ ゴ

- 相談無料
- 電話・来所
- 秘密は固く守ります

新潟県高齢者総合相談センター

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2-2

新潟ユニソンプラザ3階



寄付・寄贈
ありがとうございました(敬称略)



平成30年11月1日
新潟県すし商生活衛生同業組合 —すし折り詰め712折り

平成30年11月2日
新潟県税理士協同組合 ————— 100,000円

新潟日産モーター株式会社は、60周年記念事業として、社会・地域貢献を目的とし、「車椅子購入助成寄付金」60万円を県社会福祉協議会を通じて、障害福祉施設1施設、高齢者施設4施設 合計5施設に寄付されました。(平成30年10月12日)



新潟の民話

笠地藏のお話は、全国各地で聞ける昔ばなしですね。歳の市に笠を売りに行つたおじいさんが、雪の中で凍えているお地藏さんを見つけます。かわいそうに思つて売り物の笠をかぶせて、年夜の買い物もせずに帰ってきます。待つていたおばあさんもお地藏さんの話を聞き、「それはいい

いきます。つましい生活の中からの善意に地藏が恩返しをする、これが笠地藏の話です。

新潟県には郷土色あふれた笠地藏のお話があります。笠地藏に登場するお地藏さんは六地藏です。おじいさんは笠を五つしか持つていなかったので、6体目にはお婆さんが織つた反物を巻き付けます。織物が名産だった新潟ならでは？でしょうか。

故・水沢謙一先生が収集した「燃える風」というお話では、焚きもののかわりに「燃える風をあげよう」とお地藏さんが錫杖で囲炉裏を突くと風が吹き出し燃えます。これは天然ガスなのでしょう。大

笠地藏―燃える風― お礼に囲炉裏から天然ガス

ことをしましたね」とおじいさんをほめます。とはいえ、大晦日の夜に食べ物もなく、焚き物もつきそうで心細い年夜です。すると、外からそりを引きながら「笠をくれた爺の家はどこだ」と呼んでいる声が聞こえます。

何だろうと思ひながら「ここだ」と言う

晦日の晩、善良な人の行いが報われる。そして笑顔で話が終わります。ほっこりしますね。

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事・新潟妖怪研究所長)



福祉 ニュース

2018年10月11日～11月10日

県内55施設・病院が拒否 身元保証人なしの入所入院

県内の福祉施設や病院の少なくとも55施設が、身元保証人らがない人の入所や入院を拒んでいることが10月16日、県立大の調査で分かった。保証人がいないことを理由とした受け入れ拒否は、病院の場合は医師法違反、福祉施設も厚生労働省の省令違反に当たるが、施設側が料金未払いなどを懸念し、身寄りのない人の

受け入れに二の足を踏んでいる実情が浮き彫りになった。国はことし4月と8月に関係機関に通知するなどして、是正を求めている。

助け合い新たな形 有償のシステムが発足

地域住民の関係づくりを促す、新潟市東区紫竹4の地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」で10月、有償による助け合いの仕組み「お互いさま・新潟」が発足した。この仕組みでは、研修を受けたボランティアが手助けの必要な人に1時間500円で日常生活の支援をする。支援を求める声を上げやすく、拾いやすい地域をつくるのも狙いで、

双方が直接やりとりをするのが特徴。生活支援コーディネーターらが依頼に合ったボランティア等を紹介する。

「即戦力」潜在保育士5.6万人

働く意欲の高い「潜在保育士」は5.6万人。資格を持ちながら保育士として働いていない人たちへの調査結果を踏まえ、野村総合研究所が推計をまとめた。就労が実現すれば、16.9万人の子どもを預かることができる計算になるという。厚生労働省は潜在保育士を約76万人と推計し、再就職支援に取り組んでいる。潜在保育士の就労は待機児童解消の有効な対策になりそうだ。

平成30年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために



ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償

(賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間 1 年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	新設 徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

- 基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円
- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
 - オプション2 ● 医務室の医療事故補償
 - オプション3 ● 看護師の賠償責任補償
 - オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
 - クレーム対応サポート補償 **新設**

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

プラン 2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償

② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年、職種級別 A 級

▶保険金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン 3 施設職員の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年、職種級別 A 級

▶保険金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	1,500円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	600円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
施設役員・職員 1名1口あたり	3円(1日あたり) 780円(年間・週5日勤務の場合)

① 施設職員の労災上乗せ補償

- オプション: 使用者賠償責任補償 **改定**

③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン 4 社会福祉法人役員等の補償

(賠償責任保険)

保険期間 1 年

社会福祉法人役員等の賠償責任補償 **改定**

▶保険金額	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

第42回北越銀行賞

長年の社会福祉活動たたえる

県内で長年、福祉やボランティア活動に取り組む個人と団体を支援する北越銀行賞の表彰式が、10月26日、長岡市のホテルで行われました。

表彰を受けたのは、社会福祉活動に協力し、特に功績が顕著であった民間施設職員、一般ボランティア、学生ボランティアの3部門で合わせて4人、8団体です。

この賞は、同行（長岡市）の創業100年を記念して1977（昭和52）年に創設し、今年42回目となります。福祉施設や新潟県社会福祉協議会が推薦した32件の中から選ばれました。

新潟県社会福祉協議会が推薦し選ばれたのは、長岡市の吉田興子さんと同市のチーム中越羽賀友信代表です。吉田さんは、1991（平成3）年の「デイサービスセンターサンバルコなかのしま」の立ち上げから、高齢者の入浴、食事、排せつ介助を行い、高齢者の在宅生活を支えてきました。現在は主任介護支援専門員として、地域の高齢者の相談支援を行うとともに後進の指導育成に尽力しています。

また、チーム中越は10年間にわたり、災害支援活動や災害ボランティアセ

ンター支援活動を続けています。東日本大震災などの災害時には、関係団体と協働型災害ボランティアセンターを立ち上げ成果を上げています。被災・復興の知見を共有して高め合う学びの循環を作り、人材の育成にも努めています。

その他の受賞者は以下の通りです。

【民間施設職員】和田安廣（十日町市）

【一般ボランティア】青空会（五泉市）
聴ボランティア陽だまり（新潟市西区）
特定非営利活動法人たんぼぼカンパニー（同東区）ボランティアヘルパーまごの手燕市元気づくりの会（同）渋谷進（魚沼市）

【学生ボランティア】新潟青陵大学・同短期大学部学生ボランティアコーディネーター（上越市）

【市民ボランティア】新越中越（上越市）
市中央区（上越市）
空飛ぶ車いすサークル（同北区）渡辺春佳（上越市）

【市民ボランティア】新越中越（上越市）
市中央区（上越市）
空飛ぶ車いすサークル（同北区）渡辺春佳（上越市）



北越銀行賞の表彰式

生命保険協会新潟県協会

ボランティア 15団体に助成金

生命保険協会新潟県協会（水野健会長）は11月12日、社会福祉などの分野で活動している県内のボランティアグループ15団体に、物品購入費として119万1千円を寄贈しました。併せて、社会福祉法人新潟市社会福祉協議会に福祉巡回車1台を贈りました。

新潟ユニゾンプラザで行われた贈呈式では、水野会長をはじめ、竹内希六・新潟県社会福祉協議会会長とボランティアグループ9団体が出席。寄贈目録を受け取った各団体の代表者は、お礼を述べるとともに、活動内容および物品の活用方法について紹介しました。



助成を受けたボランティア団体と生命保険協会新潟県協会のメンバー

続いて午後からは福祉巡回車の寄贈式が行われ、水野会長から新潟市社会福祉協議会の本田加代子常務理事・事務局長に巡回車の「ゴールデンキー」が手渡されました。

社会貢献・CR活動に取り組む同協会は、加盟する保険会社で働く社員・営業職員などからの募金を財源に、毎年実施しています。



福祉巡回車の贈呈式

支え合い安心して暮らせる地域社会を考える

安心できる暮らしを提案し、明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて、をテーマとする「福祉・介護・健康フェア2018」が今年も、11月18日に新潟市中央区の朱鷺メッセで開催されました。住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らせる共生社会実現を考えるヒントがいろいろの展示やイベントが行われました。前日とは打って変わった小春日和の青空に誘われて、昨年を超える約1万9千人の家族連れや福祉・医療関係者が訪れました。主催は新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会・新潟日報社です。



来場の子どもも参加した福祉・介護・健康フェアテアポカト

7回目を迎えた今年は、県内外の企業・団体100社近くが出店、「医療」「介護」「口腔ケア」「生活支援」「予防・健康」の5ゾーンに分かれて、最新の商品やサービスを紹介しました。来場者は各ブースを回り、担当者の話に耳を傾けたり、体感したりしていました。親子に人気の「子ども広場」では、エコバッグや折り紙教室が開かれ、おもちゃ病院も「開院し、よくわかる！認知症の予防」など専門家による啓発セミナーも行われました。

知絵子さんが、「広がり、子ども食堂の輪」と題して講演、「それぞれのネットワークを活用し地域の資源を耕し掘り起こすことに結びついている。子ども食堂は地域と子どもが繋がるプラットフォームであり、地域の交流拠点であり、シニアの活動の場である。地域の人が元気になる居場所だ」と子ども食堂の貧困対策を含めた子ども食堂の意義について強調しました。続いて、介護福祉士でモデルとしても活躍する上条百里奈さんが「施設での職場体験で感じた高齢者の温かさ」と、ずっと一緒に居たい、と言う思いが介護の道へのきっかけとなった。介護は、その人の

生きたいと思う姿をかなえる手助けする素晴らしい仕事。世界で一番楽しい仕事にしたい。介護や福祉のことをどんどん発信する手段としてモデルになった」と自らが介護福祉士を志したきっかけや現場での体験を通してやりがいなどを訴えました。

同ステージではさらに、タレントの毒蝮三太夫さんが、独特の毒舌で笑わせながら、「まむし流健康法・笑顔が一番」について解説。タレントのゴルゴ松本さんも、少年院などで語り続けている「命の授業」について、楽しく生きるためのヒントや人生を変える言葉の持つ力について話しました。

このほか、今年も「県介護技術コンテスト」が開催され、県内の施設に勤める介護職員が、食事・入浴・認知症ケアの3部門で、日ごろの仕事で身に付けた技術を披露しました。絵本ワールドにいがた20

18も行われ、絵本作家の講演のほか、絵本の読み聞かせや県内大学生によるワークショップなどに、親子連れが楽しい一日を過ごしていました。2階エスプラナードでは、障がいのある人たちが心を込めて作った製品を販売する「福祉の店パレット周年祭」が開催。来場者は小物や食品を買い求めたほか、「さき織りの実演」に見入っていました。

合わせて、障がいのある人たちが生産に関わった農産品などを販売する「ノウフクマルシエ」も店開き、「おいしい蜂蜜と甘い香りの蜜ろうキャンドル作り」の体験もあり、こちらも来場者で大にぎわいでした。新潟会場に続き、上越市でも11月23日に高田公園オーレンプラザで同フェアが開催されました（新潟県社会福祉協議会など主催）。こちらも、Rー1グランプリ2018チャンピオンに輝いた漫談家の濱田祐太郎さんとシンガーソングライターの佐藤ひらりさんがステージを彩り、多くの来場者でにぎわいました。



フォトアルバム



バレット周年祭



子ども食堂の意義などを語る栗林さん



介護士を目指した訳などを話す上条さん



ユーモアたっぷりに客席をわかわせる毒蝋さん



にぎわった
ソウフクマルシェ



親子連れら多くの来場があった絵本コーナー



新潟医療福祉大学・義肢装具自立支援学科ブース



技術の高さや専門性を競った第3回新潟県介護技術コンテスト



来場者でにぎわうフェア会場



「認知症サポーター養成講座」



親子で楽しんだ木工教室